

# **平成 27 度大分県計画に関する 事後評価**

**令和 7 年 1 月  
大分県**

### 3. 事業の実施状況

平成27年度大分県計画に規定した事業について、令和5年度終了時における事業の実施状況について記載。

#### 【令和5年度実施事業】

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No.2 (医療分)】 回復期リハ病棟等施設設備整備事業	【総事業費】 395,514 千円
事業の対象となる区域	東部・中部・南部・豊肥・西部・北部	
事業の実施主体	県内医療機関、大分県	
事業の期間	平成27年8月1日～令和6年3月31日 □継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>高齢化に伴う医療・介護ニーズの増大に対して効率的な医療提供体制を構築するため、病床の機能分化・連携が必要</p> <p>アウトカム指標： 地域医療構想（ビジョン）の達成のための必要病床数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患医療における入院3ヶ月時点での退院率の増加 H28：49.7% → R5：64.0%（精神保健福祉資料）</li> <li>地域医療構想において不足している回復期病床数の確保 2,079床（R3：3,312床→R7：5,391床）</li> </ul>	
事業の内容（当初計画）	<p>地域医療構想（ビジョン）の達成に向けた施設整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性期病棟を回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟へ再編するための施設設備整備。</li> <li>回復期リハ病棟の機能充実のための改修施設設備整備</li> <li>在宅復帰を推進するための訓練室施設設備整備</li> </ul> <p>また、県内医療の基幹病院である大分県立病院に精神科医療の高度急性期・急性期機能を担う精神科病棟を整備することにより、他の医療機関との機能分化・連携の推進を図り、地域医療構想の達成に向けた病床機能分化・連携に寄与する。</p>	
アウトプット指標（当初の目標値）	<p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神科病棟整備医療機関数 1 医療機関</li> <li>回復期リハビリテーション病棟 整備医療機関数 1 医療機関</li> </ul>	
アウトプット指標（達成値）	<p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神科病棟整備医療機関 1 医療機関</li> <li>回復期リハビリテーション病棟整備医療機関数 1 医療機関</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患医療における入院3ヶ月時点での退院率の増加 H28：49.7% → R2：59.0%（※） ※精神保健福祉資料の最新値がR2のため</li> <li>地域医療構想において不足している回復期病床数の確保</li> </ul>	

	235 床増 (R3 : 3,312 床→R5 : 3,547 床)
	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 回復期病床の整備を支援することで、地域医療構想の推進に寄与できた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 施設整備や設備整備については、各医療機関において入札等の価格競争を実施し、コストの低下を図っている。</p>
その他	H31 : 97,500 千円、R2 : 83,225 千円、R5 : 15,932 千円